

パレット・レター

2018
December
No. 12



2018年12月3日発行

「少年たちに寄り添う」

非行少年への支援に関する
研修会を開催しました。



本市では、昨年度に引き続き今年度も、国の「子供・若者支援地域ネットワーク強化推進事業」を活用し、人材育成の為の研修会を開催しています。

11月2日に Palette で開催された研修会には、四国中央市子ども若者支援ネットワーク会議の委員など、30人が参加しました。

講師には、甲南女子大学から黒澤良輔先生をお招きし、「少年たちに寄り添う」と題し、非行少年のアセスメントや発達障がいとの関連についてご講演いただきました。先生のこれまでの経験をもとに、非行少年の正しい理解や支援者自身の感情や偏見にとらわれない対応が重要であることを、教えていただきました。

今後も関係機関と連携しながら、被害者・加害者・地域社会を配慮したバランス・アプローチを行い、将来への希望を少年たちが持てる社会を作れるよう努めてまいります。

BOOK REVIEW

玄関ホールで貸し出し中!

ヨシタケシンスケ・作 / 伊藤亜紗・相談 / アリス館



「違い」をお互い楽しめばいい

主人公は宇宙飛行士、目が3つあるのが当たり前の星に着いて、「えっ、きみ後ろが見えないの?」とかわいそうがられるところから物語は始まります。

自分が「当たり前」と思っていたことが当たり前ではなく、「できないこと」はそれぞれ違うけど、それは「欠落」ではなくて、単に「違う世界で生きている」ということだよ〜と。

とっても可愛い絵と、笑ってしまうストーリーを追いかけているうちに、しみじみメッセージが染みこんでくる、素晴らしい絵本です。テーマは一応視覚障害ですが、全ての「違い」に通じる内容です。子どもにも安心して読んでもらえて、大人も人によっていろんなものを受け取れます。どうぞお手に取ってみてください。

子ども若者発達支援センター会報

パレット・レター

- 発行 -

四国中央市子ども若者発達支援センター

TEL 0896-28-6029 FAX 0896-28-6030

palette@city.shikokuchuo.ehime.jp



カラー版のパレット・レターはこちらで読みたいだけ



Palette公式ウェブサイトはこちら

Palette またはパレット・レターに関するお問合せは上記まで。

パレット・レターの表紙になってくれるお子さんを募集します。ご協力いただける方は、Palette の職員または上記までご連絡ください。

「シルバー人材センター」の講習会に参加してきました！

四国中央市シルバー人材センターでは、子供の成長と接し方などを勉強し、学童保育や保育所などで活躍するための能力を育成するために、今年度「保育補助・放課後児童支援員養成講習会」を開催しています。

今回、この講習会に Palette が講師として参加させていただくことになりました。



当日は、参加された22人のシルバー人材センターの会員さんとその候補者に、「子どもたちの多様性について考える」と題して、講演とグループ討議をさせていただきました。



講演では、今年からはじめた出前講座「発達マイノリティって？」で、多数派社会において「少数派」の人たちと共に暮らしていくために必要なことを、一緒に考えていきたいと思います。



グループ討議では、3つのマイノリティの子どもケースについて、3班に分かれて対応を考えました。



沢山の意見が出たために話がまとまった班もあれば、まとまらなかった班もありました。でも、子どもや保護者が抱えている困りごとについて、皆で考えるとても良い機会になったと思います。

今後も出前講座に加えて、理解者や協力者、そして支援者が増えることを願って、こういった活動も続けていきたいと思っています。



「水引細工教室」を開催しました

Paletteでは、東部・西部子どもホーム（放課後等デイサービス事業所）を利用して児童が、さまざまな体験をしたり、また地域と交流したりすることなどを目的とした「地域交流事業」を行っています。

今回この事業で「水引細工教室」を開催しました。

講師として、カワイチ株式会社に加地るり子さんをはじめ、3名の先生が Palette に来てくださり、当日利用していた9人の子どもたちに、水引を使った「とんぼのストラップ」や「お正月のリース」の作り方を、教えてくださいました。



子どもたちは真剣な表情で講師の先生の説明を聞き、ひとりでは難しいところは手伝ってもらいながら完成させていました。

自分で選んだ好きな色や模様の水引で作った作品に、皆満足そうでした。

